

学校評価アンケート結果 令和4年度と令和5年度の比較

- 学校評価アンケートは、スクールポリシーの実現状況を評価するものとして実施した。 → ☆[スクールポリシー](#)
- 各項目とも、「そう思う」を4点、「ややそう思う」を3点、「あまりそう思わない」を2点、「そう思わない」を1点とし、4点満点で平均点を算出した。

質問項目	年度	生徒				保護者				教職員	
		1年	2年	3年	全体	1年	2年	3年	全体	全体	
グラデュエーション・ポリシーに関する項目	(1)本校は、先の見通しを立てる計画性や企画力を持ち、自分で考え前向きに行動できる生徒を育成している	R4年度	3.0	2.9	3.1	3.0	3.0	3.1	2.9	3.0	2.8
		R5年度	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	3.2	3.2	3.2	2.8
	(2)本校は、自己を管理する力を持ち、常に努力を継続することのできる生徒を育成している	R4年度	3.0	2.9	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	3.0	3.0
		R5年度	3.1	3.0	3.1	3.0	3.0	3.3	3.2	3.1	2.8
	(3)本校は、周囲への気遣いや思いやる心を持ち、他者を尊重して寄り添うことのできる生徒を育成している	R4年度	3.1	3.0	3.1	3.1	3.0	3.1	3.0	3.0	3.1
		R5年度	3.1	3.1	3.1	3.1	3.0	3.3	3.4	3.2	3.1
	(4)本校は、柔軟に対応しコミュニケーションを図る力を持ち、集団の中で協力できる生徒を育成している	R4年度	3.1	3.0	3.2	3.1	3.1	3.0	3.0	3.1	3.1
		R5年度	3.3	3.1	3.1	3.1	3.1	3.3	3.3	3.2	3.1
	(5)本校は、課題を発見する力を持ち、解決に向けた考えを発信できる生徒を育成している	R4年度	2.9	2.9	3.0	2.9	2.9	2.9	2.8	2.9	2.9
		R5年度	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	3.2	3.0	3.0	2.5
カリキュラム・ポリシーに関する項目	(6)本校は習熟度別授業や選択科目の設置、スーパークラスの編成により、生徒の進路実現を目指した学力向上を図っている	R4年度	3.2	3.1	3.2	3.2	3.3	3.2	3.2	3.2	3.0
		R5年度	3.3	3.1	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3	3.3	2.9
	(7)本校は、生徒が主体的に参加する活動の重視により、深い学びに繋がる授業を実施している	R4年度	2.9	2.8	3.0	2.9	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9
		R5年度	3.1	3.0	3.0	3.0	3.1	3.2	3.2	3.2	2.8
	(8)本校は、プロジェクターやタブレットなどICT機器の活用により、深い学びに繋がる授業を実施している	R4年度	3.1	2.7	2.8	2.9	3.2	2.6	2.4	2.9	3.1
		R5年度	3.2	3.1	2.8	3.0	3.1	3.3	2.7	3.0	3.1
	(9)本校は、環境類型を中心に、生徒自らが問いを立てた探究活動を行ない、発表の機会を積極的に設定している	R4年度	3.1	2.7	2.9	2.9	3.1	2.8	2.7	2.9	2.9
	R5年度	3.1	3.1	2.8	3.0	2.9	3.2	2.8	3.0	2.5	
アドミッション・ポリシーに関する項目	(10)本校は、北高祭等の学校行事や生徒会活動において、生徒による主体的な企画・運営を行なっている	R4年度	3.4	3.4	3.5	3.4	3.5	3.5	3.4	3.5	3.5
		R5年度	3.5	3.5	3.4	3.5	3.5	3.7	3.7	3.6	3.5
	(11)本校は、HR活動において、生徒による主体的な企画・運営を行っている。	R4年度	3.1	2.9	3.0	3.0	3.0	3.0	2.8	3.0	3.0
	R5年度	3.1	3.1	3.0	3.1	2.9	3.1	3.2	3.0	3.0	
アドミッション・ポリシーに関する項目	(12)本校の生徒は、教科の学習や探究活動に、主体的・積極的に参加できている	R4年度	3.0	2.8	3.1	3.0	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9
		R5年度	3.1	3.1	3.0	3.1	2.9	3.2	3.1	3.0	2.6
	(13)本校の生徒は、自由な校風の中でも、自ら考えて律することができている	R4年度	3.1	3.0	3.2	3.1	3.2	3.3	3.3	3.3	2.8
		R5年度	3.2	3.1	3.1	3.1	3.2	3.5	3.5	3.4	2.8
アドミッション・ポリシーに関する項目	(14)本校の生徒は、進路目標を定め、その実現に向けて努力を継続できている	R4年度	3.0	3.0	3.3	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
		R5年度	3.1	3.1	3.2	3.1	3.0	3.2	3.4	3.2	2.9

【学校評議員(学校関係者評価委員)による助言】

- 生徒のアンケートについては、昨年と比べ全体の評価が下がっている項目はない。また、3年生(73期生)が昨年度(2年生時)と比べて複数の項目((2)、(7)、(12)、(14))で0.2ポイント以上上がっていることは評価できる。
- 保護者アンケートについては、ほとんどの項目で昨年度と比べて全体の評価が上がっている。特に2年生(74期生)が昨年度(1年生時)と比べて多くの項目((1)、(2)、(3)、(4)、(5)、(10)、(12)、(13)、(14))で0.2ポイント以上上がっていることは大変評価できる。
- 教職員アンケートについては、約半数の項目で下がっている。特に、探究活動に関する項目((5)、(9)、(12))の自己評価が低い。探究活動に関する項目は、生徒や保護者アンケートにおいても他の項目と比べてやや低くなっており、探究活動の充実が今後の課題である。
- 学校の魅力・特色化のためには「ブランディング(独自のブランドを作り差別化を目指すこと)」が重要である。本校の良さ(自主・自律の校風)を大切に、生徒を信じてやらせてほしい。また、学校外の活動に積極的に参加して、学校外の人の評価を受ける機会も増やしてほしい。